

2021年7月～2022年6月の間に
当科において経皮的骨生検を受けられた方へ
ー「CTガイド下骨生検におけるパワードライバー骨生検針導入後の検討」
へご協力をお願いー

研究機関名 岡山大学病院
研究機関長 前田 嘉信

研究責任者	岡山大学病院	放射線科	助教	馬越 紀行
研究分担者	岡山大学病院	放射線科	教授	平木 隆夫
	岡山大学病院	放射線科	准教授	松井 裕輔
	岡山大学病院	放射線科	助教	富田 晃司
	岡山大学病院	放射線科	助教	宇賀 麻由
	岡山大学病院	放射線科	助教	宗友 一晃
	岡山大学学術研究院保健学域	放射線技術科学	教授	生口 俊浩

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

骨病変の組織診断のため、経皮的骨生検が日常的に行われています。骨病変が硬い場合には、従来の用手法骨生検針では強い力が必要で、生検時間が長くなってしまいうこともあります。今回、ドリル式のパワードライバー骨生検針（オンコントロール®）が導入され、手技時間の短縮や患者さんやオペレーターの放射線曝露量の低減を得られる可能性があり、安全性などを含め調べることを目的として行われます。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

この研究により、パワードライバー骨生検針（オンコントロール®）により、手技時間の短縮や患者さんやオペレーターの放射線曝露量の低減を得られる可能性があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2021年7月1日から2022年6月30日にパワードライバー骨生検針（オンコントロール®）を用いて、経皮的骨生検を施行した患者さん13名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2024年3月31日

3) 研究方法

放射線科 IVR グループのデータベースより2021年7月～2022年6月にパワードライバー骨生検針を用いて、経皮的骨生検を施行した患者を抽出します。その後、術前のCT、MR画像を含

め、標的となった部位について検査前の画像検査（CT、MR など）について検討を行います。
また生検に要した時間や生検回数、組織学的診断能について後方視的に検討します。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテなどから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、既往歴、身長、体重、腎機能、血液生化学検査
- ・ 検査前画像（CT、MRI など）、病変のサイズ、部位、性状、病理組織診断

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院放射線科医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたまたは代諾者（ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人））のご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び研究の独創性の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料を入手または閲覧することが出来ますので お申出下さい。また、この研究におけるあなたの個人情報等の開示はあなたまたは代諾者が希望される場合に行います。

この研究の結果は氏名、生年月日などあなたを直ちに特定できる情報を分からない形にして学会、論文で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代諾者の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院放射線科

所属：助教 氏名：馬越 紀行

電話：086-235-7313 （平日：9時00分～17時00分）

ファックス：086-235-7316